

2 ダイコンは大きな根？ 稲垣栄洋

資料画像 3 枚

★目標★

段落の役割に着目して、文章を読み取ろう

◇課題◇ 段落の役割を学び、内容を確認しよう

Step 1

教科書 P 44～47 を声に出して読む。

- ① ゆっくりていねいに、ただしく読む。
- ② わからない漢字や言葉は辞書などを使って調べておく。

Step 2

段落に番号を書く。

- ① 教科書の各段落に番号を書き、資料で正しい場所、数になっているか確認する。

Step 3

ノートを作る。

- ① 資料の内容をそのままノートに書き写す。
※字はていねいに書く
※黒の部分は鉛筆かシャープペン、赤の部分は赤のペンで書く
※線を書くときは定規を使って書く

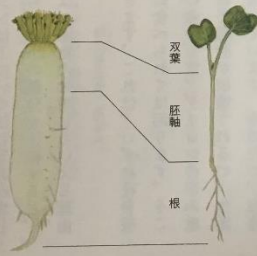
Step 4

教科書を見ながら、ワーク（「国語の学習 1」）を解く。

- ① P 20～25 までを解く。（P 21 語句はやらなくてよい）
※直接書きこむか、ノートにやる。ノートの場合は問題番号と答えがわかるように書く。
- ② 解き終わったら答え合わせをする。間違えたものは正しい答えを赤ペンで書く。

3 その疑問に答えるために、ダイコンの芽であるカイワレダイコンを見ながら考えてみます。カイワレダイコンは、双葉と根、その間に伸びた胚軸とよばれる茎から成り立っています。根の部分には、種から長く伸びた主根と、主根から生えている細いひげのような側根があります。

4 これに対して、私たちが食べるダイコンをよく見てみると、下の方に細かい側根が付いたり、側根の付いていた跡に穴が空いていたりするのがわかります。ダイコンの下方は主根が太ってきているのです。いっぽう、ダイコンの上の方を見ると、側根がなく、すべすべしています。この上の部分は、根ではなく胚軸が太ったものです。つまり、ダイコンの白い部分は、根と胚軸の二つの器官から成っているのです。



- 10 いっぽう
- 3 双葉
- 4 伸びる
- 10 胚軸
- 10 根

ダイコンは大きな根？

1 私たちは、毎日いろいろな種類の野菜を食べています。野菜は植物ですから、根や葉、茎、花、実などの器官からできています。例えば、キャベツやレタスなら葉の部分を食べていますし、トマトやナスなら実の部分を食べています。

2 それでは、私たちが普段食べているダイコンの白い部分ほどの器官なのでしょうか。漢字で「大根」と書くくらいですから、根のように思うかもしれませんが、そんなに単純ではありません。



- 10 単純
- 3 茎
- 7 普段

稲垣 栄洋

● 段落の役割に注目しながら、文章の内容をとらえる。
● 筆者の説明のしかたの工夫について考える。

5 この二つの器官は、じつは味もちがっています。なぜ、ちがっているのでしょうか。胚軸の部分は水分が多く、甘みがあるのが特徴です。胚軸は、根で吸収した水分を地上の茎や葉に送り、葉で作られた糖分などの栄養分を根に送る役割をしているからです。

7 いっぽう、根の部分は辛いのが特徴です。ダイコンは下にいくほど辛みが増していきます。ダイコンのいちばん上の部分と、いちばん下の部分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多いのです。ここには、植物の知恵ともいえる理由が隠されています。

8 根には、葉で作られた栄養分が豊富に運ばれてきます。これは、いずれ花を咲かす時期に使う大切な栄養分なので、土の中の虫に食べられては困ります。そこで、虫の害から身を守るため、辛み成分を蓄えているのです。ダイコンの辛み成分は、普段は細胞の中にありますが、虫にかじられて細胞が破壊されると、化学反応を起こして、辛みを発揮するような仕組みになっています。そのため、たくさん細胞が壊れるほど辛みが増すことになりました。

9 これらの特徴を活用して調理すると、ダイコンのさまざまな味を引き出すことができます。例えば、大根下ろしを作るときに、辛いのが好き人は下の部分に向いていますし、辛いのが苦手な人は上の部分を使うと辛みの少ない大根下ろしを作ることができます。また、ダイコンを力強く直線的に下ろすと、細胞が破壊されて、より辛みが増します。逆に、円を描くようにやさしく下ろせば、破壊される細胞が少なくなり、辛みが抑えられるのです。

10 このように、ダイコンの白い部分は異なる器官から成っていて、器官の働きによって味もちがうのです。普段何気なく食べているダイコンも、植物として観察してみると興味深い発見があります。他の野菜はどうでしょう。いろいろな調べてみると、これまで気づかなかった野菜の新しい魅力が見えてくるかもしれません。



筆者 稲垣栄洋 一九六八(昭和四三) 静岡県出身 農学者
 著書 身近な雑草のゆかいな生き方「働きアリの2割はサボっている」
 「野菜いしぎ図鑑」など。
 出典 「キャベツになつて花が咲く」を、本書のために書き改めたもの。
 水之上みのり 絵

- 44 茎
- 44 地下茎
- 44 普通
- 44 双
- 44 伸
- 44 軸
- 44 車軸
- 40 跡
- 40 史跡
- 40 甘
- 40 甘言
- 40 辛
- 40 辛苦
- 40 較
- 40 比較
- 40 恵
- 40 恩恵
- 40 軸
- 40 車軸
- 40 蕾
- 40 胎子
- 40 壊
- 40 決壊
- 40 描
- 40 描写
- 40 魅
- 40 魅力



「雑草はなぜ花を止まるのか」稲垣栄洋著
 「雑草はなぜ花を止まるのか」稲垣栄洋著

10 細胞の体を構成する基本単位。
 11 化学反応。元の物質が変化して、別の物質ができること。化学変化ともいう。
 9 いずれ

- 12 破壊
- 11 蓄える
- 9 咲く
- 8 知恵
- 7 比較
- 5 辛い
- 2 甘い
- 9 いずれ

ダイコンは大きな根？

稲垣栄洋

☆目標☆

段落の役割に着目して文章を読みとろう。

段落の種類

①形式段落：最初の一字分を下げ、書いてある文章のまとまり。

②意味段落：前後の形式段落のつながりを考えて、意味上のまとまりごとに区切った段落。

段落の役割

今回の文章には次のような役割の段落がある。

- ・導入
- ・問題提起(問い)：仮説(こぼさないか)
- ・答え
- ・説明(補足)：事実
- ・まとめ